【会議録】

会　議　名	第１回赤坂・青山子ども共育事業運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和２年 12 月２日（水）午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで
開催場所	赤坂地区総合支所２階大会議室
委　　員	出席者　５名 中島委員長、中島副委員長、白井委員、関委員、高松委員 欠席者　なし
事　務　局	赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当　山口係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進課係　髙梨、谷口、吉田
会議次第	１　開会 ２　委員の紹介 ３　委員長の選出・副委員長の決定 ４　協議事項 （１）募集要項（案）・仕様書（案）について （２）事業者選考に係るスケジュール（案）について （３）事業者選考の審査基準（案）について 　ア、第一次審査 　イ、第二次審査 ５　第２回及び第３回の選考委員会について ６　その他 ７　閉会
配付資料	（配付資料） 資料１　赤坂・青山子ども共育事業運営支援業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料２　選考委員会名簿 資料３　募集要項（案）・別紙第 1 から 10 号様式（案） 資料４　仕様書（案）・別紙 資料５　事業者選考に係るスケジュール（案） 資料６　審査の流れについて 資料７　第一次審査表（案） 資料８　第二次審査表（案） ※原則ペーパーレスにて会議を行うが、資料３・７・８のみ席上に資料を配付する

会議の結果及び主要な発言	
（発言者） Ａ委員	１　開会 （開会の挨拶） ２　委員の紹介

事務局	（事務局より各委員の紹介）
	３　委員長の選出・副委員長の選出
事務局	資料１に基づき委員長の選出について審議をお願いします。
Ｂ委員	Ａ委員を推薦します。 （委員一同、異議なし）
Ａ委員	資料１に基づき委員長が副委員長を指名します。Ｂ委員を推薦します。 （委員一同、異議なし）
	４　協議事項 （１）募集要項（案）・仕様書（案）について （事務局から資料３及び資料４について説明）
Ａ委員	質問等お願いします。
Ｃ委員	資料３の２－（２）－アの記述について、スポーツ講座は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会前に実施することを目的としているように読み取れます。オリンピック・パラリンピック後も開催余地があれば、記述に工夫が必要だと思います。
事務局	スポーツ講座は必ずオリンピック前に実施する講座ではないので修正します。
Ａ委員	資料３の７－（１）－①の一次審査について、項番４（１）のオンライン対応を項番３（６）にまとめたほうが良いと思います。
事務局	項番３（６）にオンラインの環境整備としてまとめます。
Ｂ委員	資料３の７－（１）－①の項番２（３）の評価の視点に「地域や区と共に考えながら作っていく」といった記述を入れてはどうでしょうか。
事務局	文言を考えて反映します。
	（２）事業者選考に係るスケジュール（案）について （事務局から資料５について説明）
Ａ委員	ただいまの説明についていかがですか。 （委員一同、異議なし）
	（３）事業者選考の審査基準（案）について （事務局から資料６、資料７、資料８について説明）
Ｂ委員	二次審査の際、プレゼンテーションで使用するワンペーパー以外の提案書も評価に含めますか。
事務局	含めます。
Ｄ委員	資料３の７－（１）－①の項番３（５）について、「様々なジャンルの講座」が示す範囲を教えてください。１つの講座を設定し、講座ごとにそのジャンルを発展させていくという意味ですか。
事務局	共育事業は地域の企業や団体と連携して講座を作り上げていくことが肝になります。幅広く、バランスの良い様々な種類の講座という意味から「様々なジャンル」と表現しました。
Ａ委員	資料３の７－（１）－①の記述が分かりにくいです。
Ｂ委員	資料３の７－（１）－①の記述をより具体的にするべきです。また、資料３の７－

	（１）－①の項番３（１）の評価基準が曖昧なので工夫が必要です。
事務局	事務局では資料３の７－（１）－①の項番３（１）を総論、資料３の７－（１）－①の（２）、（３）、（４）及び（５）を各論と考えています。
Ｃ委員	資料３の７－（１）－①の項番３（１）、（２）、（３）、（４）及び（５）の評価の狙いを明確にしたほうが分かりやすいです。
Ａ委員	年度ごとに１つのジャンルやテーマを定めて、それに沿った講座設定も面白いと思います。「様々なジャンル」は、幅広く様々なバラエティに富むことが良いと考えますか。
Ｂ委員	講座の多様性以外にも、全体的なコンセプトや企画力を問う審査をしても良いと思います。
事務局	今までは多くの参加者に、魅力ある様々な講座をバランス良く実施することを重視してきました。今後は１つの講座が発展していく、共育としては新しい視点も導入することになると思います。
Ａ委員	「様々なジャンル」の捉え方が評価として狭いと思います。
Ｂ委員	資料３の７－（１）－①の項番３（５）企画力の視点が「様々なジャンル」という言葉を使わず、別の表現が良いと思います。また、各対象者に対して配慮の視点を問うのはどうですか。
Ｄ委員	文化６講座は、小学生向け、中学生向け、多世代交流をそれぞれ２講座ずつ提案してもらうという意味ですか。
事務局	事業者の自由な提案を促すため、募集要項にあえて講座数は指定していません。実際に行う講座の比率は次年度以降、状況も踏まえて事業者と協議の上で決定します。
	５　第２回及び第３回の選考委員会について （事務局から日程について説明） ６　その他 ７　閉会
Ａ委員	（閉会の挨拶）